

東スポ・日刊ゲンダイと並ぶ夕刊紙御三家のひとつ、産経新聞社が発行する『夕刊フジ』が、2月1日付で大リストラに踏み切った。『週刊文春』（2011年2月3日号）がコラム記事で伝えている。

《「これまで約50名のスタッフから、減員になるのは25人程度。手付かずで残すのは競馬担当ぐらいで、芸能や政治、経済、レイアウトを担当する整理も半減になります。うちは『朝組み』といって当日午前中の生ニュースを入れるのが創刊当初からの伝統ですが、面数は変わらず人が半分になれば、ほぼ無理です。

上は『企画で勝負しろ』なんてメチャクチャなことを言ってますが、アホかと思いますよ」（中堅記者）

編集部でこの異動を発表した幹部は、思わず涙ぐんでいたという。夕刊フジは、三年ほど前にもリストラでスタッフを四分の一減らしたばかりだった。》